

平成25年 5月13日

お知らせ

資料提供

三次記者クラブ

昭和47年7月豪雨災害時の被災水位を示した 被災水位表示板を更新します！

江の川流域では、昭和47年7月豪雨により死者・行方不明者28名、全半壊家屋約4千棟、浸水家屋約1万4千棟、また三次市で堤防が2ヶ所決壊するなど甚大な被害を受けました。

このため国土交通省（旧建設省）では、堤防や排水ポンプ場の整備、土師ダム及び灰塚ダムの建設を進めるとともに、この甚大な災害を忘れることなく水害の恐ろしさを後世に伝えるため、三次市街地を中心に被災水位表示板を設置しています。

しかし、年月の経過とともに被災水位表示板が劣化し見えにくくなったものがあるため、この度10ヶ所の被災水位表示板の更新を行います。

市民の皆様がこの表示板を目にすることにより、防災意識の向上や早期の避難行動に繋がることを期待し、下記により更新作業を実施しますのでお知らせします。

日時：平成25年5月21日（火） 11時から

場所：三次バスセンター（三次市十日市東1丁目5-10）

●問い合わせ先 国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所

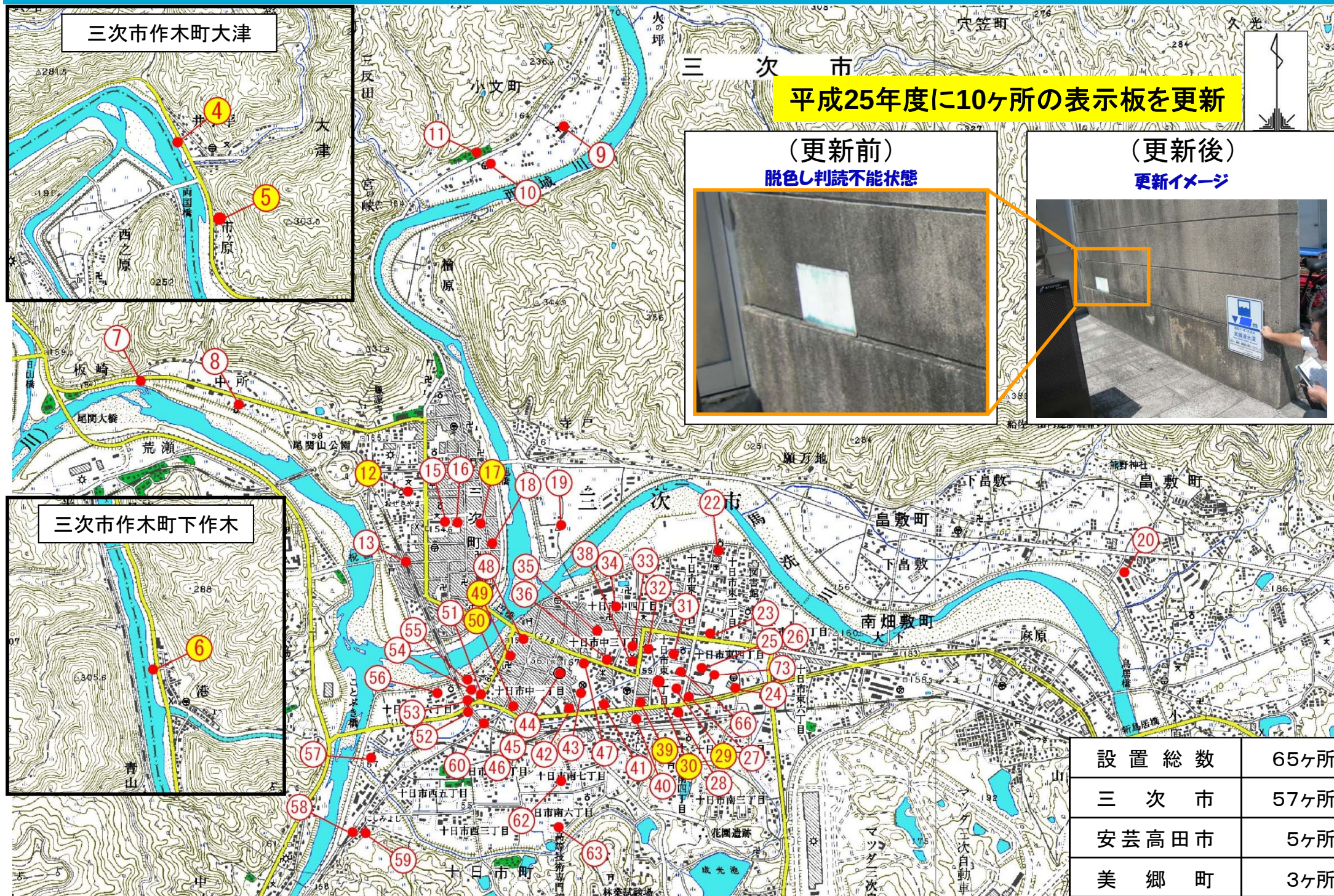
副所長（河川） うめだ としゆき
梅田 敏之

【広報担当】 建設専門官 なかい きみお
中井 喜美男

TEL：(0824) 63 - 4121（代表）

FAX：(0824) 63 - 3094

被災水位表示板(昭和47年7月洪水)の更新



昭和47年7月豪雨災害時の浸水状況

